

## 平成 29 年度 第 2 回みんなで支える森林づくり松本地域会議

日 時 平成 30 年 3 月 20 日 (火) 13 時 30 分から 15 時 30 分

場 所 松本合同庁舎 203 号会議室

出席者

みんなで支える森林づくり松本地域会議委員

|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 牛島 俊平 | 信州フォレストコンダクター(長野県森林組合連合会中<br>信木材センター) |
| 赤羽 克彦 | 松筑木材協同組合理事長                           |
| 太田 美絵 | 塩尻商工会議所相談指導課                          |
| 佐藤 喜男 | 森林環境教育研究室室長                           |
| 田村 恵子 | 自然エネルギー信州ネット理事                        |
| 平林 千代 | 安曇野市消費者の会会長                           |
| 増田 富重 | 松本広域森林組合専務理事                          |
| 矢島 頼義 | 松本市農林部耕地林務課課長                         |

松本地域振興局

|          |       |
|----------|-------|
| 林務課長     | 春日 嘉広 |
| 課長補佐林務係長 | 森 一雄  |
| 課長補佐普及係長 | 芳沢 雅行 |
| 林産係技師    | 奥原 知幸 |
| 林産係技師    | 平沢 公彦 |

委員からの意見

- 松本地域では、幅広い事業を実施している。
- 松くい虫の予算はいくらあっても足りない。特にライフライン沿いの枯損木について予算付けいただきたい。
- 松くい虫被害木の活用モデル事業の結果を活かしてもらいたい。組合としては、チップの販売価格交渉の材料になればと考えている。
- 里山リーダー養成、木育など住民の身近なところでも使われているのが良い。
- 会議所で元気づくり支援金を使ってチップを歩道に撒いたことがある。森林税を必要としているところに情報が行っていないのではないか。
- 山側と需要者や森林整備に係る団体同士など、お互いをお互いが知らないで進めているところがある。
- バイオマスで用材にならないものの使い途が確保された。
- なぜ木が良いのかという PR が不足している。特に若い人は、木材よりもデザインや機能性で住宅を選んでいる。
- ライフライン沿いの枯損木をどうにかしてほしいという要望が多く寄せられる。森林税を含めて整備する体制を取ってもらいたい。
- 来年度人財育成の取組みがあるが、安全面での取組みを入れてもらいたい。

- 情報を発信する側が受ける側の段階に合わせて見てもらえるようにするために森林の情報発信のためのアンテナショップがあると良いのではないか。
- 子供たちに木を使う取組だけではなく、ドングリを育てるなどの木を育てる取組も必要ではないか。